

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	一般廃棄物処理における住民の満足と協力：ライフステージに着目したアプローチ
Title(English)	
著者(和文)	小島英子
Author(English)	Eiko Kojima
出典(和文)	学位:博士（学術）, 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第9671号, 授与年月日:2014年9月25日, 学位の種別:課程博士, 審査員:阿部 直也,中崎 清彦,花岡 伸也,村山 武彦,西條 美紀
Citation(English)	Degree; Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第9671号, Conferred date:2014/9/25, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

一般廃棄物処理における住民の満足と協力：ライフステージに着目したアプローチ

論文要旨

本研究は、「一般廃棄物処理における住民の満足と協力：ライフステージに着目したアプローチ」と題し、全9章で構成される。

第1章「序論」では、住民の一般廃棄物処理の恩恵を受ける立場と、その仕組みが機能するために協力する立場の二面性に着目し、本研究の背景を整理した上で、研究の目的と意義について述べた。

第2章「既往文献の整理」では、既存の学術研究をレビューし、本研究の特色と意義を明確にした。まず、「満足」と「協力」の規定因に関する既往研究を整理した。次に、公共事業に対する住民の意識や行動を理解する手法として、ソーシャル・マーケティングとセグメンテーションについて述べた。さらに、本研究で用いるセグメンテーション指標を検討する上で参考になる生涯発達心理学の研究成果について触れ、最後にこれらの既往研究を踏まえ、本研究の特色と意義について述べた。

第3章「対象地域とアンケート調査概要」では、研究対象とする川崎市の概況と一般廃棄物処理の状況を整理した上で、研究対象地域としての代表性について検討した。また、第4、5、7章で共通して分析に用いるアンケート調査の概要を説明し、ライフステージ別に、基本属性や一般廃棄物処理に対する「満足」と「協力」の傾向を概観した。

第4章「一般廃棄物処理に対する満足と協力の規定因モデル分析」では、既往研究に基づき、一般廃棄物処理に対する「満足」と「協力」の規定因の仮説モデルをそれぞれ構築し、アンケート調査結果を用いた共分散構造分析により検証した。その結果、一般廃棄物処理の「満足」に対する「期待」「知覚品質」「知覚価値」からなる規定因モデルと、「協力」に対する「関心」「知識」「態度」「情報取得行動」からなる規定因モデルの存在、及び両モデルの間に相互関係があることを明らかにした。

第5章「ゴミ問題に対する関心の変化」では、前章において、「満足」と「協力」の両方に影響することが明らかになった「関心」について、過去から現在に至るゴミへの「関心」の変化の理由を尋ねたアンケート調査結果をテキストマニングと多重コレスポネンシ分析により解析し、結婚、育児、就業、退職、転居などのライフイベントは「関心」を高める傾向があることを明らかにした。

第6章「一般廃棄物処理に対するニーズ」では、既往研究で「満足」の規定因の「期待」に影響するとされている「ニーズ」について、ライフステージとの関係を掘り下げた。具体的には、ライフステージ別にグループ・インタビュー調査を行った結果として、例えば、

若年独身者は利便性を重視するのに対して、高年層では環境も重視するなど、ライフステージ別に特徴が存在することを明らかにした。

第 7 章「一般廃棄物処理に対する選好」では、第 6 章のグループ・インタビュー調査結果を踏まえ、住民の一般廃棄物処理に対する「選好」の階層構造図を構築し、AHP（階層化意思決定法）を用いて、ライフステージ別の一般廃棄物処理に対する「選好」の特徴を解明した。

第 8 章「ライフステージ別分析と施策提案」では、第 3 章から 7 章までの結果から、ライフステージ別に、基本属性や「満足」、「協力」、「関心」、「ニーズ」、「選好」の特徴を整理した。その結果を受け、各ライフステージにあった一般廃棄物処理施策を検討し、ライフステージ・セグメンテーションの有効性について考察した。

第 9 章「結論」では、第一に、一般廃棄物処理に対する「満足」に対する規定因モデルと、「協力」に対する規定因モデルの存在と、両モデルには相互関係が存在することを述べた。第二に、住民のごみへの「関心」はライフステージの変遷とともに高まる傾向があることを述べた。第三に、一般廃棄物処理に対する「ニーズ」や「選好」は、ライフステージで特徴が存在することを述べた。第四に、「満足」や「協力」及びその規定因がライフステージとともに変化するのは、ライフステージによって（1）ライフイベント、（2）ごみ管理の役割、（3）時間的、経済的余裕、（4）地域との繋がり、（5）社会への理解力や体力などの能力が異なることが影響していることを述べた。そして、これらの得られた知見から、ライフステージ別に「満足」と「協力」を引き出す一般廃棄物処理施策を具体的に提案し、ソーシャル・マーケティングを活用したライフステージ・セグメンテーションの有効性を示した。

Residents' Satisfaction and Cooperation for Municipal Solid Waste Management: Life-Stage Segmentation Approach

SUMMARY

In terms of municipal solid waste management (MSWM), residents play roles as both “consumers” who use public services and “actors” who bear a responsibility to support the MSWM system by following the rules of waste separation and disposal. Currently, Japan’s waste administration provides service and information in a uniform manner and requires all people, irrespective of age and sex, to follow the rules. Using life-stage segmentation based on the social marketing to better understand residents’ circumstances should be useful in helping local authorities to design effective and efficient MSWM policy measures to raise people’s levels of satisfaction and cooperation for the MSWM system. Thus, this study aims to clarify the characteristics of satisfaction, cooperation and these determinant factors of each life-stage. We divided people into 10 life-stages by age and family structure, and carried out a questionnaire survey of all life-stages and group interviews of 4 selected life-stages in Kawasaki City, Japan.

Firstly we analyzed the questionnaire survey data to verify the causal model involving satisfaction, participation and their determinant factors such as expectation, awareness and so forth, using the Structural Equation Modeling. The results implicated the existence of causal relationship between satisfaction and participation.

Secondly we analyzed the open-ended question data asking respondents the reason of awareness change from their childhood to the present, by using text mining techniques and correspondence analysis. The results show that residents’ awareness would be influenced by experience of various life events, playing role of waste management at home and so forth, and changes by life-stage.

Thirdly we analyzed the results of the group interviews and questionnaire survey applied the Analytic Hierarchy Process and verified that residents at different life stages have different MSWM needs and preferences.

Finally, based on the all results, we considered and proposed some MSWM policy measures for each life-stage, and discussed the effectiveness of life-stage segmentation approach for designing policy measures.